

平成30年10月31日

上場会社名 京成電鉄株式会社

上場取引所 東

コード番号 9009 URL <http://www.keisei.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小林 敏也

問合せ先責任者 (役職名) 経理部連結・受託課長 (氏名) 杉森 英一

TEL 047-712-7100

四半期報告書提出予定日 平成30年11月9日

配当支払開始予定日

平成30年12月4日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第2四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第2四半期	129,916	3.3	17,746	1.2	26,890	0.1	20,520	3.9
30年3月期第2四半期	125,759	3.4	17,955	4.1	26,925	6.6	19,752	3.9

(注) 包括利益 31年3月期第2四半期 22,419百万円 (6.3%) 30年3月期第2四半期 21,097百万円 (8.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第2四半期	121.23	
30年3月期第2四半期	116.69	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第2四半期	820,893	387,525	45.7
30年3月期	794,712	366,423	44.6

(参考) 自己資本 31年3月期第2四半期 374,847百万円 30年3月期 354,554百万円

(注) 「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、前連結会計年度に係る総資産及び自己資本比率については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値となっております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期		7.00		8.00	15.00
31年3月期		7.50			
31年3月期(予想)				7.50	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	264,200	3.6	30,700	2.0	47,300	0.3	34,600	0.6	204.41

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期2Q	172,411,185 株	30年3月期	172,411,185 株
期末自己株式数	31年3月期2Q	3,141,626 株	30年3月期	3,141,539 株
期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期2Q	169,269,577 株	30年3月期2Q	169,273,816 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1.業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。なお、連結業績予想に関する事項は、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

2.当社は、平成30年11月6日(火)に機関投資家・アナリスト向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布した資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

(参考)

平成31年3月期の個別業績予想（平成30年4月1日～平成31年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	85,600	4.8	19,300	10.5	22,900	8.1	16,400	8.2	95.49

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P2
(1) 経営成績に関する説明	P2
(2) 財政状態に関する説明	P3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P4
(1) 四半期連結貸借対照表	P4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P6
四半期連結損益計算書	P6
四半期連結包括利益計算書	P7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P8
(継続企業の前提に関する注記)	P8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P8
(セグメント情報)	P8
3. 補足情報	P9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用情勢の改善が続く中、個人消費に持ち直しの動きが見られるなど、緩やかに回復いたしました。

このような状況の中で、当社グループは、全事業にわたり積極的な営業活動を展開するとともに、より一層の経費削減に取り組むなど、業績の向上に努めたほか、「BMK（ベストマナー向上）推進運動」にも引き続き取り組み、お客様サービスの向上を図ってまいりました。

その結果、営業収益は1,299億1千6百万円（前年同期比3.3%増）となりましたが、営業利益は177億4千6百万円（前年同期比1.2%減）となりました。経常利益は268億9千万円（前年同期比0.1%減）となりましたが、親会社株主に帰属する四半期純利益は205億2千万円（前年同期比3.9%増）となりました。

セグメント別の業績は、以下のとおりであります。

<運輸業>

鉄道事業では、安全輸送確保の取り組みとして、高架橋の耐震補強工事等を実施したほか、空港第2ビル駅及び日暮里駅上りホームへのホームドア設置工事を推進いたしました。

大規模工事については、葛飾区内の押上線連続立体化工事において、仮下り線工事を推進したほか、今年度中の竣工に向けて京成上野駅のリニューアル工事を推進いたしました。

営業面では、スカイライナー券等の販路拡大のため、新千歳空港内にチケット発行機を新設するとともに、国内の大手旅行代理店や海外の旅行代理店と新たに提携したほか、各種営業施策を実施いたしました。また、訪日外国人の更なる誘致に向けて、台湾の桃園国際空港と台北市内を結ぶ桃園大衆捷運股份有限公司（桃園メトロ）と新たに相互連携に関する合意書を締結し、共同プロモーションを実施するなど、海外における営業強化に取り組みました。

バス事業では、一般乗合バス路線において、浦安市内で新規路線の運行を開始したほか、利便性向上のため既存路線の増便や系統新設等を実施いたしました。高速バス路線においては、「東京シャトル」のお客様累計600万人を達成した記念としてキャンペーンを実施いたしました。また、成田空港発着の一部路線において、輸送需要に対応するため増便を実施したほか、新松戸駅・松戸駅～羽田空港間の路線を新設するなど、お客様の利便性向上を図りました。

タクシー事業では、経営基盤の強化等を目的に、習志野タクシー株式会社と船橋交通株式会社の習志野営業所事業を統合し、京成タクシー習志野株式会社として営業を開始いたしました。

以上の結果、営業収益は771億1千3百万円（前年同期比3.5%増）となりましたが、燃料費の増加等により、営業利益は138億3千3百万円（前年同期比0.6%減）となりました。

<流通業>

百貨店業では、新たな顧客の獲得を図るため新規ブランドの導入や売場の一部リニューアルを実施したほか、創業110周年を記念した各種イベントを開催いたしました。また、つくば駅前の商業施設内において、「京成百貨店つくばショップ」をオープンするなど、収益の拡大に努めました。

ストア業では、各種キャンペーンを実施したほか、京成曳舟駅構内及びつくばエクスプレス線流山セントラルパーク駅前にコンビニエンスストアの新店舗をオープンするなど、集客を図りました。

以上の結果、営業収益は341億9千6百万円（前年同期比0.6%増）となりましたが、営業利益は1億1千5百万円（前年同期比65.5%減）となりました。

<不動産業>

不動産販売業では、中高層住宅「サングランデ津田沼」の引き渡しを開始したほか、来年度に引き渡し予定の中高層住宅「サングランデ ザ・レジデンス千葉（イーストレジデンス）」を全戸完売いたしました。

不動産賃貸業では、文京区白山及び台東区根岸の賃貸住宅等が稼働いたしました。また、トラック・バスの整備・営業拠点として稼働している千葉県・茨城県・埼玉県土地・建物18物件や習志野市津田沼の賃貸住宅等を取引いたしました。このほか、2021年の開業に向け、「千葉中央駅西ロビル」の建て替え工事に着手いたしまし

た。

以上の結果、営業収益は115億7千3百万円（前年同期比35.0%増）となり、営業利益は34億5千万円（前年同期比10.5%増）となりました。

<レジャー・サービス業>

映画業では、「京成ローザ^⑩」開館60周年記念として、特別試写会や舞台挨拶をはじめとする各種イベントを開催いたしました。

ホテル業では、京成ホテルミラマーレにおいて、各種宿泊プランを企画するなど、新規顧客の獲得に努めました。

旅行業では、新しい商品の企画・催行により、営業力の強化を図りました。

しかしながら、営業収益は42億9千7百万円（前年同期比0.8%減）となり、営業利益は1千万円（前年同期比32.1%減）となりました。

<建設業>

建設業では、鉄道施設改良工事やビジネスホテルの新築工事等を行ったほか、当社グループ外からの受注拡大に努めました。

しかしながら、完成工事高が減少したため、営業収益は75億4千1百万円（前年同期比13.7%減）となり、営業利益は2億7百万円（前年同期比46.1%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産合計は、前期末比261億8千1百万円（3.3%）増の8,208億9千3百万円となりました。これは、不動産賃貸物件の取得により「建物及び構築物」「土地」が増加したこと、及び持分法適用会社株式の増加により「投資有価証券」が増加したことによるものです。

負債合計は、前期末比50億7千9百万円（1.2%）増の4,333億6千8百万円となりました。これは、「社債」が発行により増加したことによるものです。

純資産合計は、前期末比211億1百万円（5.8%）増の3,875億2千5百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により「利益剰余金」が増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当期の連結業績予想は、第2四半期までの業績などを踏まえ平成30年4月27日に公表しました通期業績予想を変更しております。

営業収益につきましては、流通業において売上が想定を下回ることを見込むことなどから、2,642億円（前回予想比0.4%減）と、従来予想から10億円引き下げております。

営業利益につきましては、運輸業において原油価格上昇に伴い、燃料費が想定を上回ることを見込むことなどから、307億円（前回予想比1.0%減）と、従来予想から3億円引き下げております。

※業績予想につきましては、発表日現在で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

通期の見通し

(単位：百万円、単位未満切捨)

	営業収益	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益
今回発表予想	264,200	30,700	47,300	34,600
前回発表予想	265,200	31,000	47,300	34,600
増減額	△1,000	△300	—	—
増減率 (%)	△0.4	△1.0	—	—

※セグメント別の通期見通しについては、添付資料10ページ「平成31年3月期 通期業績予想」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	24,611	26,632
受取手形及び売掛金	20,308	18,254
分譲土地建物	6,267	6,132
商品	2,435	2,156
仕掛品	576	1,274
原材料及び貯蔵品	2,547	2,774
その他	10,003	9,407
貸倒引当金	△31	△35
流動資産合計	66,718	66,597
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	270,309	273,351
機械装置及び運搬具（純額）	20,939	20,247
土地	150,173	163,755
リース資産（純額）	31,246	30,977
建設仮勘定	24,115	26,437
その他（純額）	2,368	2,258
有形固定資産合計	499,151	517,027
無形固定資産		
リース資産	1,338	1,278
その他	9,416	9,194
無形固定資産合計	10,755	10,472
投資その他の資産		
投資有価証券	200,159	209,034
長期貸付金	606	599
繰延税金資産	13,481	13,058
その他	3,860	4,011
貸倒引当金	△135	△132
投資その他の資産合計	217,972	226,571
固定資産合計	727,879	754,072
繰延資産	114	224
資産合計	794,712	820,893

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年 3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年 9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	20,730	15,671
短期借入金	60,842	62,633
1年内償還予定の社債	—	10,000
リース債務	4,489	4,524
未払法人税等	5,870	5,743
前受金	18,320	21,072
賞与引当金	2,925	3,066
役員賞与引当金	39	14
その他	34,906	36,839
流動負債合計	148,125	159,566
固定負債		
社債	40,000	50,000
長期借入金	122,747	107,919
鉄道・運輸機構長期未払金	52,381	50,914
リース債務	20,121	19,966
繰延税金負債	1,877	1,608
役員退職慰労引当金	360	289
退職給付に係る負債	31,074	31,307
その他	11,601	11,796
固定負債合計	280,164	273,802
負債合計	428,289	433,368
純資産の部		
株主資本		
資本金	36,803	36,803
資本剰余金	28,538	28,538
利益剰余金	286,704	306,008
自己株式	△2,049	△2,049
株主資本合計	349,997	369,301
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,488	5,444
繰延ヘッジ損益	△69	0
退職給付に係る調整累計額	138	100
その他の包括利益累計額合計	4,556	5,545
非支配株主持分	11,869	12,677
純資産合計	366,423	387,525
負債純資産合計	794,712	820,893

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第 2 四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成29年 4 月 1 日 至 平成29年 9 月 30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成30年 4 月 1 日 至 平成30年 9 月 30日)
営業収益	125,759	129,916
営業費		
運輸業等営業費及び売上原価	90,649	94,142
販売費及び一般管理費	17,154	18,028
営業費合計	107,803	112,170
営業利益	17,955	17,746
営業外収益		
受取利息	70	71
受取配当金	156	184
持分法による投資利益	9,686	9,799
雑収入	679	660
営業外収益合計	10,592	10,716
営業外費用		
支払利息	1,375	1,235
雑支出	246	337
営業外費用合計	1,621	1,572
経常利益	26,925	26,890
特別利益		
工事負担金等受入額	407	713
投資有価証券売却益	1	400
その他	1	37
特別利益合計	409	1,151
特別損失		
固定資産圧縮損	394	665
固定資産除却損	126	232
事業撤退損	420	—
その他	64	80
特別損失合計	1,005	978
税金等調整前四半期純利益	26,329	27,063
法人税、住民税及び事業税	5,514	5,745
法人税等調整額	83	△113
法人税等合計	5,597	5,631
四半期純利益	20,731	21,431
非支配株主に帰属する四半期純利益	978	910
親会社株主に帰属する四半期純利益	19,752	20,520

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
四半期純利益	20,731	21,431
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	13	591
退職給付に係る調整額	21	15
持分法適用会社に対する持分相当額	331	380
その他の包括利益合計	366	987
四半期包括利益	21,097	22,419
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	20,118	21,510
非支配株主に係る四半期包括利益	978	908

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						計	調整額 (注)1	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)2
	運輸業	流通業	不動産業	レジャー・ サービス業	建設業	その他 の事業			
営業収益									
(1) 外部顧客に対する 営業収益	74,046	33,786	5,864	3,191	6,576	2,291	125,759	—	125,759
(2) セグメント間の内部 営業収益又は振替高	481	218	2,709	1,141	2,165	1,209	7,926	△7,926	—
計	74,528	34,005	8,574	4,333	8,741	3,501	133,685	△7,926	125,759
セグメント利益	13,918	334	3,122	15	385	139	17,915	39	17,955

(注) 1 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成30年4月1日 至 平成30年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						計	調整額 (注)1	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)2
	運輸業	流通業	不動産業	レジャー・ サービス業	建設業	その他 の事業			
営業収益									
(1) 外部顧客に対する 営業収益	76,595	33,938	8,933	3,129	5,229	2,091	129,916	—	129,916
(2) セグメント間の内部 営業収益又は振替高	518	258	2,640	1,167	2,312	1,861	8,758	△8,758	—
計	77,113	34,196	11,573	4,297	7,541	3,952	138,674	△8,758	129,916
セグメント利益	13,833	115	3,450	10	207	115	17,733	12	17,746

(注) 1 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去及びのれん償却額であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 補足情報

(1) 平成31年 3 月期 第 2 四半期業績

①前年同期比較

(単位：百万円、単位未満切捨)

		当第 2 四半期 連結累計期間	前年同期	増 減	増減率 (%)
鉄道事業	営業収益	41,198	39,817	1,381	3.5
	営業利益	11,016	10,435	580	5.6
バス事業	営業収益	23,438	22,717	720	3.2
	営業利益	2,588	3,041	△452	△14.9
タクシー事業	営業収益	12,476	11,993	483	4.0
	営業利益	229	440	△211	△48.0
運輸業	営業収益	77,113	74,528	2,585	3.5
	営業利益	13,833	13,918	△84	△0.6
流通業	営業収益	34,196	34,005	190	0.6
	営業利益	115	334	△218	△65.5
不動産業	営業収益	11,573	8,574	2,998	35.0
	営業利益	3,450	3,122	327	10.5
レジャー・サービス業	営業収益	4,297	4,333	△35	△0.8
	営業利益	10	15	△5	△32.1
建設業	営業収益	7,541	8,741	△1,200	△13.7
	営業利益	207	385	△178	△46.1
その他の事業	営業収益	3,952	3,501	450	12.9
	営業利益	115	139	△23	△17.0
小 計	営業収益	138,674	133,685	4,989	3.7
	営業利益	17,733	17,915	△181	△1.0
連結修正	営業収益	△8,758	△7,926	△831	—
	営業利益	12	39	△26	△68.6
連 結	営業収益	129,916	125,759	4,157	3.3
	営業利益	17,746	17,955	△208	△1.2
営業外収益		10,716	10,592	124	1.2
営業外費用		1,572	1,621	△49	△3.0
経常利益		26,890	26,925	△35	△0.1
特別利益		1,151	409	741	181.0
特別損失		978	1,005	△27	△2.8
税金等調整前四半期純利益		27,063	26,329	734	2.8
法 人 税	法人税等 同調整額 計	5,745	5,514	231	4.2
		△113	83	△197	—
		5,631	5,597	34	0.6
四半期純利益		21,431	20,731	700	3.4
非支配株主に帰属する四半期純利益		910	978	△67	△6.9
親会社株主に帰属する四半期純利益		20,520	19,752	767	3.9

	当第 2 四半期 連結累計期間	前年同期
営業外収益の主な内訳		
持分法による投資利益	9,799	9,686
営業外費用の主な内訳		
支払利息	1,235	1,375
特別利益の主な内訳		
工事負担金等受入額	713	407
特別損失の主な内訳		
固定資産圧縮損	665	394

②鉄道事業 輸送人員及び旅客運輸収入内訳表 (単体)

(単位：千人、百万円)

区 分	当第 2 四半期 累計期間	前年同期	増 減	増減率 (%)
輸 送 人 員				
定 期	87,668	85,983	1,685	2.0
定 期 外	60,237	59,110	1,127	1.9
計	147,905	145,093	2,812	1.9
(うち 成田空港発着)	10,810	9,955	855	8.6
(うち 有料特急)	3,010	2,706	304	11.2
旅 客 運 輸 収 入				
定 期	10,880	10,672	208	2.0
定 期 外	21,893	20,881	1,012	4.8
計	32,774	31,553	1,220	3.9
(うち 成田空港発着)	10,510	9,507	1,003	10.6
(うち 有料特急)	2,872	2,567	305	11.9

(注) 輸送人員：千人未満を四捨五入して表示しております。
旅客運輸収入：百万円未満を切り捨てて表示しております。

(2) 平成31年3月期 通期業績予想

①前期比較

(単位：百万円、単位未満切捨)

		今回発表予想	前 期	増 減	増減率 (%)
鉄道事業	営業収益	82,400	79,824	2,575	3.2
	営業利益	17,500	15,388	2,111	13.7
バス事業	営業収益	46,300	45,207	1,092	2.4
	営業利益	3,900	4,365	△465	△10.7
タクシー事業	営業収益	25,200	23,862	1,337	5.6
	営業利益	600	779	△179	△23.1
運輸業	営業収益	153,900	148,894	5,005	3.4
	営業利益	22,000	20,534	1,465	7.1
流通業	営業収益	69,200	68,581	618	0.9
	営業利益	400	663	△263	△39.7
不動産業	営業収益	22,500	20,219	2,280	11.3
	営業利益	6,700	6,651	48	0.7
レジャー・サービス業	営業収益	9,300	9,252	47	0.5
	営業利益	100	169	△69	△40.9
建設業	営業収益	26,100	22,255	3,844	17.3
	営業利益	1,000	1,497	△497	△33.2
その他の事業	営業収益	9,600	8,603	996	11.6
	営業利益	500	476	23	5.0
小 計	営業収益	290,600	277,806	12,793	4.6
	営業利益	30,700	29,992	707	2.4
連結修正	営業収益	△26,400	△22,778	△3,621	—
	営業利益	0	92	△92	△100.0
連 結	営業収益	264,200	255,028	9,171	3.6
	営業利益	30,700	30,085	614	2.0
経 常 利 益		47,300	47,145	154	0.3
親会社株主に帰属する当期純利益		34,600	34,811	△211	△0.6
(注) 持分法による投資利益		17,800	18,178		

②鉄道事業 輸送人員及び旅客運輸収入内訳表 (単体)

(単位：千人、百万円)

区 分	今回発表予想	前 期	増 減	増減率 (%)
輸 送 人 員				
定 期	171,558	168,226	3,332	2.0
定 期 外	120,990	118,703	2,287	1.9
計	292,548	286,929	5,619	2.0
(うち 成田空港発着)	21,562	20,049	1,513	7.5
(うち 有料特急)	6,084	5,544	540	9.7
旅 客 運 輸 収 入				
定 期	21,484	21,049	434	2.1
定 期 外	44,052	42,177	1,874	4.4
計	65,536	63,227	2,309	3.7
(うち 成田空港発着)	21,135	19,343	1,791	9.3
(うち 有料特急)	5,809	5,278	531	10.1

(注) 輸送人員：千人未満を四捨五入して表示しております。
旅客運輸収入：百万円未満を切り捨てて表示しております。

③前回予想比較

(単位：百万円、単位未満切捨)

		今回発表予想	前回発表予想	増減	増減率 (%)
鉄道事業	営業収益	82,400	82,100	300	0.4
	営業利益	17,500	17,400	100	0.6
バス事業	営業収益	46,300	46,000	300	0.7
	営業利益	3,900	4,200	△300	△7.1
タクシー事業	営業収益	25,200	25,400	△200	△0.8
	営業利益	600	800	△200	△25.0
運輸業	営業収益	153,900	153,500	400	0.3
	営業利益	22,000	22,400	△400	△1.8
流通業	営業収益	69,200	70,800	△1,600	△2.3
	営業利益	400	800	△400	△50.0
不動産業	営業収益	22,500	21,200	1,300	6.1
	営業利益	6,700	6,200	500	8.1
レジャー・サービス業	営業収益	9,300	9,400	△100	△1.1
	営業利益	100	100	—	—
建設業	営業収益	26,100	26,100	—	—
	営業利益	1,000	1,000	—	—
その他の事業	営業収益	9,600	9,500	100	1.1
	営業利益	500	400	100	25.0
小計	営業収益	290,600	290,500	100	0.0
	営業利益	30,700	30,900	△200	△0.6
連結修正	営業収益	△26,400	△25,300	△1,100	—
	営業利益	0	100	△100	△100.0
連結	営業収益	264,200	265,200	△1,000	△0.4
	営業利益	30,700	31,000	△300	△1.0
経常利益		47,300	47,300	—	—
親会社株主に帰属する当期純利益		34,600	34,600	—	—
(注) 持分法による投資利益		17,800	17,800		